



『マメに働きこまめに聞きます』

未来に責任を持つ政治を

地方分権の推進により地域の独自性が求められるようになりました。少子高齢化が急激に進む人口減少社会にあって、私たちの出雲市が暮らしやすく、安全安心な街になることを目指して、皆様とともに考え行動して行きます。出雲市の未来に責任をもつ市政実現に一生懸命働きます。

出雲市議会議員 遠藤 カー
いつでもどこでも 090-9063-9107
endomame0220@softbank.ne.jp

マメに働き
こまめに聞きます

えんどう豆通信

平成21年度出雲市議会議員選挙

7位 3019票 2期目の当選をはたしました！

平成21年4月12日執行された、出雲市議会議員選挙におきまして、皆様方の多大なる応援のおかげを持ちまして、2期目の当選を勝ち取ることができました。「出雲阿国座」が大きな争点になった選挙で、誰が市政の主役なのか、誰のための市政なのかを問われた選挙でした。

市民の声に耳を傾け、その思いに応えた候補者は上位で当選し、市民の思いと逆の行動を取った候補者は、大きく票を減らしました。

「阿国座」に固執した前市長も、残念ながらその職を失ってしまいました。今回の選挙を通して、市政・議会の役割が再認識され、真に住民が主役になる市政ができるよう、2期目も全力で戦ってまいります。

《所属委員会》

文教厚生委員会 (所管は：教育委員会・健康福祉部) 副委員長に就任
交通対策特別委員会
予算特別委員会

《所属協議会》

森林・林産業対策協議会
循環型社会構築協議会
地域医療福祉協議会
ICT活用調査研究会
国県道対策協議会



文教厚生委員会



◎市営浜山住宅のシャワー設備の設置に関する請願<採択>

市営浜山住宅は昭和 52 年度に建設され、すでに 30 年を経過し、風呂の設備も老朽化していました。

シャワーがあれば手軽に清潔になり、快適な生活が営めるとともに、燃料消費の節約をすることで、環境に配慮した生活ができます、子どもたちの生活習慣も、建設当時とは大きく変わっており、身近な暮らしの向上を図らせていただきたい、という思いで、5月18日に浜山住宅自治委員 満田氏と森山氏と共に長岡市長に要望しました。これにより、全市営住宅へのシャワー設置が、年次計画のもと取り組まれることになりました。

◎6月議会一般質問

1. 太陽光発電の導入を加速するために、家庭用太陽光発電パネル設置に市独自の上乘せ補助の実施を求める。
2. 地震から自宅や事業所を守るために行う耐震補強工事に、補助を求める。
3. 鷺浦地区の伝統的建造物群の指定について
4. 障がい者手帳のカバーの統一について

障害者自立支援法の施行により、障がい種別（身体障がい、知的障がい、精神障がい）にかかわらず障がい者の自立支援を目的とした共通の福祉サービスは共通の制度により提供されるようになった。しかし手帳のカバーは以前のままで統一されていない、精神障がいの方は、バスに乗車するときなど手帳を提示するのに抵抗があると聞く、手帳様式の統一を県に働きかけ実現していただきたい。

年金Q&A 『税方式へ転換すべき?／問題山積。非現実的で前例なし』

民主党や経済界などから、「保険料方式から税方式へ転換を」との声がありますが、税方式への移行には問題が山積しています。

税方式を採用すれば全サラリーマンは、会社が負担していた保険料の半額が消費税に置き換えられて大幅負担増に。保険料を完納している高齢者には消費税の負担による“二重払い”、移行には「65年」もの長い期間がかかり、現実的とはいえません。実際、世界中で保険料方式から税方式に転換させた前例は一つもありません。



モバイル版遠藤力一にアクセス！

ケータイで遠藤力一情報をいつでもどこでも手軽にチェックできます。

ブログ「えんどう豆通信」好評配信中！

--市民相談 いつでもお受けします-- 弁護士による無料法律相談も月1回あります



公明党 出雲市議会議員 遠藤力一は

いのちと暮らしを守る人間主義の政治をめざします／生活者の視点に立った文化と福祉をめざします
人間と自然が調和する「環境出雲」をめざします／出雲から世界へ発信、国際性豊かな町づくりをめざします
草の根民主主義の開花と地方主権の確立をめざします／民衆の側に立ったオピニオン・リーダーをめざします